

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
さかなづくり	小	グループ学習 低学年れんげ （図画工作）	山本穂香

<ねらい>

- ・指先を使って絵の具を広げる。
- ・絵の具の感触を袋越しに味わう。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- （１）でんぷんのりを混ぜた絵の具を台紙にのせ、チャック付き袋に入れる。
- （２）（１）の上に魚の形をくりぬいた画用紙を貼る。
- （３）魚の形に広がるように絵の具を指先で広げていく。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

（良かった点）

直接的に絵の具に触れる活動が苦手な児童がいたが、袋越しでなら感触を楽しみながら取り組んでいた。魚の形に絵の具が広がれば完成ということもわかり、終わりがわかりやすい活動であった。また、複数色使うことで視覚的にも楽しめる活動であった。

（改善点）

絵の具を台紙にのせるところで教師作業になってしまいがちであった。筆などを使うと子ども自身が違う活動に向いてしまい上手いかず、マヨネーズ容器なども少し難しく、結局教師が絵の具を台紙にのせて袋に入れることが多かった。また、袋に絵の具を入れているため、保存方法も課題である。ドライヤー等で乾かすと絵の具がひび割れてしまうことがある。

<その他（材料、費用、購入先等）>

絵の具・でんぷんのり・画用紙・チャック付き袋（ほぼ百均）

